

# 屋根除雪作業を安全に!!

## その3

屋根除雪作業中の墜落防止対策について、当署にありました情報をご紹介しますので参考にしてください。

今後も新しい情報入手しましたら、随時、ご提供していきます。

親網の取付け支柱を設置し、安全ブロックとハーネス型安全帯を併用した例  
屋根の上に親網を張るための支柱を設置、親網からは安全ブロックとハーネス型安全帯を併用して命綱を取りました。

撮影：十日町労働基準監督署 協力：(株)関芳



(株)関芳では、工場の屋根の雪下ろしを安全に行うため、屋根の上に親網の取付け支柱を設置し、安全ブロックとハーネス型安全帯を併用して雪下ろしを行いました。  
費用は、親網の取付け支柱が全部で30万円ほど、安全ブロックとハーネス型安全帯は1セット4~5万ほどだったそうです。



ハーネス型安全帯



ハーネス型安全帯は、身体にフィットしてバランスが良く安全に作業できます。安全ブロックのおかげで強く引っ張るとブレーキもかかって安心です。  
( (株)関芳 宮沢さん )

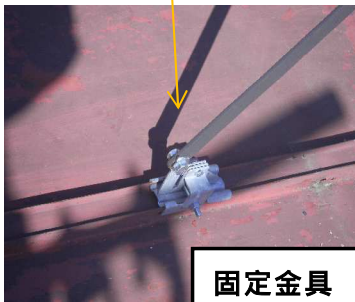
単管パイプと固定金具を組み合わせて安全帯取付け設備を設ける  
住宅の屋根に安全帯取付け設備を設置、屋根の大きさに合わせて命綱(ロープ)の長さを調整します。

撮影：十日町労働基準監督署 協力：熊木建築



命綱連結用金具

命綱の長さは屋根の大きさに合わせて調整



固定金具



雪止めアングルを利用

雪止めアングルに命綱を取り付けようとすると、はじめに雪止めアングルを雪から掘り出さなければならないので大変ですが、この方法なら雪に埋まる心配がありません。

命綱(ロープ)の長さは、身体が軒先より先に行かないように調整しますので安全に作業ができます。

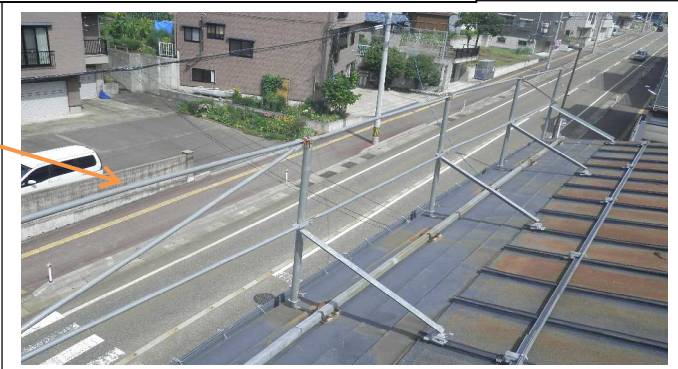
大きい屋根ならば同じ設備をいくつか設置することでカバーできます。

費用は、取付け含め約15,000円です。  
(熊木建築 熊木さん)

屋根の軒先に手すりを設けて墜落を防止する

屋根の軒先に手すりを設けることで屋根除雪を安全に行うことができ、雪庇もできにくくなります。

撮影：十日町労働基準監督署 協力：(有)相澤建設工業



屋根の軒先に取り外し可能な手すりを設置してみたところ、安全に作業できて作業効率が向上しました。また、手すりのおかげで雪庇が発生しづらくなるなど墜落防止以外にもメリットがありました。

ちなみに、雪は手すり(中さん)の下からトヨを使って落とすと楽に作業できます。費用は、一般的な住宅ならば安価で設置することができます。

((有)相澤建設工業 相澤さん)